



夏原グラント

活動報告書

2022
年度

夏原グラントは環境分野の活動資金を助成しています。
滋賀・京都で活動する市民活動団体の成果をご紹介します。



琵琶湖およびその流域の自然環境の保全活動を応援します

主催 公益財団法人 **平和堂財団**

協賛 株式会社 **平和堂**

ごあいさつ

公益財団法人平和堂財団は、教育・文化・体育・環境・児童福祉の5分野で助成活動を行っています。中でも、琵琶湖を抱える滋賀県に生まれた法人として環境分野には重点的に取り組んでおり、環境保全活動助成事業「夏原グラント」は、環境保全活動に対する中心的な助成事業として取り組んでいます。

2022年度は、61団体（ファーストステップ助成を含む。）に助成を受けていただくことができました。これもひとえに夏原グラントの趣旨に賛同し、積極的なご応募をいただいた団体の皆さんのおかげです。

贈呈式は前年同様、規模を縮小して開催しましたが、助成を受けていただいている団体の皆さんの交流会は、予定どおり4回開催でき、交流を深めていただけたのではないかと考えております。天候の急変等で活動内容を変更されたり、休

止を余儀なくされたりした団体も一部ありましたが、多くの団体が環境保全活動に熱心に取り組んでいただいたことに、改めて敬意を表します。

この度、2022年度の助成を受けていただいた団体からの活動報告をとりまとめた「平和堂財団環境保全活動助成事業 夏原グラント活動報告書」が完成しました。滋賀県・京都府内の環境に関する多様な活動について、本冊子でご紹介しておりますので、ご高覧いただければ幸いです。

公益財団法人 平和堂財団
理事長 夏原美智子



目次

助成金の概要、選考基準、スケジュール	p.1
選考委員、応募・採択事業数、説明会と事前相談会、公式サイト	p.2
夏原グラントの特徴、市民環境講座	p.3
2022年度助成事業紹介・団体一覧表	p.4-5
事業報告 1年目 16団体	p.6-11
コラム：団体交流会	p.11
事業報告 2年目 16団体	p.12-17
コラム：10周年記念動画の紹介	p.17
事業報告 3年目 10団体	p.18-21
コラム：ロゴマークとリンクバナー	p.21
事業報告 ステップアップ助成 2団体	p.22
コラム：ステップアップ助成とは	p.22
表彰された団体の紹介、表紙・裏表紙の写真の説明	p.23
コラム：夏原グラントの1年、画像による事業の紹介	p.24-25

助成金の概要

●名称

平和堂財団環境保全活動助成事業
「夏原グラント」

※グラント「grant」＝助成金

●対象となる事業

この助成金の対象は、主に琵琶湖およびその流域の環境保全活動で、滋賀県内・京都府内で実施される河川や湖等の水質保全、森林・里山保全、水源の森保全、生物多様性維持等の事業です。生活に身近な課題の解決に資する事業や、環境活動を軸に地域でのしくみやつながりを生み出すことを目的とした事業についても対象となります。具体的には、次に示すような種類および形態の活動です。

●活動の種類

- (1) 河川・湖沼などの自然環境の保護・保全活動
- (2) 森林の育成保全により、森林の多面的な機能を発揮・維持するための活動や林産物の活用を創出する活動
- (3) 里地里山の生物多様性を保全・創出するための活動や森・里・川の繋がりを再生する活動
- (4) 絶滅危惧種・稀少種に指定されている野生動物植物の保護・保全や生物多様性維持の活動
- (5) 地球温暖化・廃棄物減量などの課題を生活の中から考え、解決に向かう糸口を見つける活動
- (6) 市民が主体となって企画し、継続して行っている緑化活動や清掃活動

●活動の形態

- (1) 実践活動
- (2) 教育啓発・人材育成活動
- (3) 調査研究活動（実践活動に結びつくものが対象で、学術的な研究活動は対象外）

●一般助成金の対象となる団体

事務所を滋賀県内・京都府内に有するか、滋賀県内・京都府内で環境保全活動に取り組んでいる NPO 法人、市民活動団体または学生団体

●ファーストステップ助成金の対象となる団体

- (1) 立ち上げ支援
これを機に活動を始めようとする団体
 - (2) 小規模事業の支援
今まで比較的小規模事業を継続してきた団
- ※ 採択となった団体はファーストステップ助成終了後、夏原グラント一般助成への応募が要件

●助成金の額

- (1) 一般助成
 - ① NPO 法人、市民活動団体
1 件あたり上限 50 万円
 - ② 学生団体
1 件あたり上限 30 万円
- (2) ファーストステップ助成
1 件あたり上限 10 万円



2022 年度 募集要項

選考基準

- (1) 滋賀県内・京都府内の環境保全や地域創造に寄与すると認められること。
- (2) 他の団体のモデルとなるような先進的なテーマ設定や事業展開が期待されること。
- (3) 県民・府民の自主的な環境保全活動につながる波及効果が期待されるなど、成果が広く市民に還元されること。
- (4) 適切かつ効果的な事業手法がとられていること。

スケジュール

2021 年	
11 月 25 日	説明会・事前相談会の開始
12 月 1 日	募集開始
2022 年	
2 月 1 日	募集締め切り
2 月 25 日	1 年目 1 次選考委員会
3 月 6 日	2 年目選考委員会 プレゼンテーション
3 月 13 日	1 年目 2 次選考委員会 プレゼンテーション
4 月 16 日	贈呈式

助成金事業実施期間
2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日まで

選考委員

仁連 孝昭	滋賀県立大学 名誉教授
西野 麻知子	元びわこ成蹊スポーツ大学 教授
内田 香奈	きょうと NPO センター 副統括責任者
脇田 健一	龍谷大学 教授
辻 博子	しがローカル SDGs 研究会 事務局長

(敬称略・順不同・2022年度選考当時)

応募・採択事業数

1年目事業応募数	36事業	うち採択 16事業
2・3年目事業応募数	26事業	うち採択 26事業
ステップアップ応募数(1・2年目)	8事業	うち採択 2事業
ファーストステップ応募数(1・2年目)	20事業	うち採択 17事業
助成総額		17,508,000円

説明会と事前相談会

「夏原グラント」への応募を考えている方々を対象に、説明会と事前相談会を同日開催しました。説明会では応募に関する説明の後、質問にお答えし、終了後は個別の相談に対応しました。昨年度に引き続き、オンラインでの相談も行いました。これらの相談には、夏原グラントの運営を担っているしがNPOセンターのスタッフがあたりました。

▼開催日(すべて2021年)

11月25日(木)	草津市立市民総合交流センター	(草津市)
12月4日(土)	アクティ近江八幡	(近江八幡市)
12月7日(火)	ひとまち交流館京都	(京都市)
12月12日(日)	南丹市国際交流会館	(南丹市)
オンライン相談会 (zoom 利用)		

11月28日(日)、12月3日(金)、9日(木)、15日(水)の各日で受付

公式サイト

●夏原グラント公式サイト

<https://www.natsuhara-g.com/>

夏原グラントの概要や助成の実績など、詳しく掲載しています。

応募前や、事業実施中のQ&Aも掲載するなど、応募前から終了後までいねいに説明しています。募集要項、申請書類、採択後の活動で使用していただくロゴマークなどがダウンロードできます。

プロジェクト活動レポートのコーナーでは、事務局スタッフが活動の現場を取材し、豊富な写真とともに紹介しています。キーワード検索も可能です。

ぜひ、アクセスしてください。スマートフォンでもご覧いただけます。



夏原グラントの特徴

夏原グラントは、単なる助成金だけの支援ではありません。

(1) 学びの場の提供

毎年、市民環境講座を開催し、助成先の団体だけでなく環境保全に興味のある方にも参加していただいています。講師は夏原グラント選考委員等で、内容は環境保全の基礎や最新の知識、組織運営に関するワークショップなどです。講座を受講することで活動や組織のブラッシュアップをしていただくのが目的です。

(2) 交流機会の提供

各団体が他の地域や違う分野の活動について情報交換を行う機会を提供することにより、ネットワークを広げていただけます。

(3) 事務局サポート

しがNPOセンターの強みを活かして、事業実施中の団体からのさまざまな相談を受け、アドバイスを行っています。また、現地を訪問し、取材して「活動レポート」をサイトに公開することで、事業や団体の情報発信を行っています。

市民環境講座

この講座は助成団体だけでなく、保全活動に取り組んでいる団体やこれから取り組んでいこうとする方を対象に、オープン開催としています。夏原グラント選考委員のお二人にお話をいただきました。

●第1回 6月19日(日)

「環境保全活動で気を付けたいポイント」

講師：西野 麻知子さん

(元びわこ成蹊スポーツ大学 教授)

自然とは、生物多様性、外来生物とは何か、などという基本的な概念について教えていただきました。科学的なマクロの視点というのは、環境保全活動に取り組む団体の皆さんにとって、普段なかなか正面から向き合うことはないかもしれませんが、大切なことだと感じました。

●第2回 7月30日(土)

「効果的な活動のために」

講師：内田 香奈さん

(NPO 法人きょうとNPOセンター 副統括責任者・京都市市民活動総合センター 運営副主幹)

ビジョン・ミッション・事業について考え、自立とはどういう状態なのか、など自分の団体を振り返り、活動を続けるためのさまざまな視点を教えていただきました。他の団体の方との交流時間も、大いに盛り上がりました。



2022 年度採択事業紹介

2022 年度に夏原グラントの一般助成とステップアップ助成を受けた団体の活動をご紹介します。「夏原グラントで実施した事業の紹介」「環境や地域への貢献」「助成金が活きたと思う点」の3 つについてお聞きしています。

1 年目 16 事業、2 年目 16 事業、3 年目 10 事業、ステップアップ(2 年目のみ)2 事業の計 44 事業を掲載しています。



2022 年度助成事業・団体一覧

1 年目 16 事業

地域	事業名	団体名	頁
滋賀	彦根ブナの会 植樹活動	彦根ブナの会	6
滋賀	西の湖自然楽校	特定非営利活動法人西の湖自然楽校	6
滋賀	環境学習・環境保全活動支援のための「高島の田んぼの生きもの図鑑」の作成と活用	結いの里・椋川	6
滋賀	滋賀の河川・湖沼等の環境保全を目的とした最新科学技術の活用と地域環境問題解決	未来生物学研究所	7
滋賀	山の手入れと地元の紹介イベントを通じた地域環境の活性化	東草野炭焼き文化保存会	7
京都	吉田山の自然環境を保全・整備し人々が集い楽しめる里山に再生する事業	吉田山の里山を再生する会	7
滋賀	持続可能な集落棚田のための環境保全型ネオ・スモールファーマー発掘プロジェクト	特定非営利活動法人スモールファーマーズ	8
京都	花背の森ガタリ～土地に根差した学びの場	林業女子会@京都(花背支部)	8
京都	在来種を育む水辺づくりと交流型里山イベント	Woodstick 上桂川を守る会	8
京都	ボタン科ボタン属ヤマシャクヤクの保全	雲ヶ畑・足谷 人と自然の会	9
京都	森の保全及び公園の清掃活動	みどりの会伏見桃山	9
京都	「わきの山」における持続可能な里山利用にむけたゾーニングの検討および実施	公益財団法人京都市環境保全活動推進協会	9
京都	地球とあそびみつきち	地球とあそびみつきち	10
京都	竹林の整備による放置竹林の発生防止と景観保全	特定非営利活動法人京都発・竹・流域環境ネット	10
滋賀	遊んで学ぼう 里山東笠取	特定非営利活動法人オーガニック土の塾	10
京都	けいはんな記念公園における里山管理事業	コナラ会	11

2 年目 16 事業

地域	事業名	団体名	頁
滋賀	山を守る ごみ拾い調査とその解決法を探る	TANAKAMI こども環境クラブ	12
滋賀	ミツバチ花いっぱいプロジェクト	オランダ堰堤および周辺の環境を守る会	12

地域	事業名	団体名	頁
滋賀	比良山系の清掃登山（クリーンハイク）及び飲み水水質調査と放射線測定	比良雪稜会	12
滋賀	下阪本クリーン作戦&シジミ放流	下阪本子どもコミュニティー	13
滋賀	西の湖おはなしあそび 西の湖を感じる展覧会	西の湖あそび隊	13
滋賀	琵琶湖水鳥観察会とむべなるかな里山探索会	チームむべなるかな	13
滋賀	ニホンミツバチの蜜源の谷づくり事業	沖島里山保全の会	14
滋賀・京都	大学生の熱意で琵琶湖や鴨川を侵略的外来生物から守ろう	特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会	14
滋賀	芦浦観音寺竹林整備プロジェクト	特定非営利活動法人レイカディアえにしの会	14
滋賀	湖南市産バイオマス燃料製造プロジェクト	こにゃん木の駅プロジェクト準備委員会	15
京都	森のがっこう 2022	一般社団法人森のようちえん どんご園	15
京都	特定外来種のオオハンゴンソウ駆除で美しい花背の自然を守る	特定非営利活動法人自然観察指導員京都連絡会	15
京都	小塩山カタクリ保護地へのイノシシ侵入防止対策	西山自然保護ネットワーク	16
京都	小さな谷の小さな暮らしー自然とつながり生きる力を育むワークショップ	志賀郷ゴキゲン化計画	16
京都	市民が楽しめる豊かで元気な森育てを進めよう！	一般社団法人宇治きこりの会	16
京都	里山整備からワサビ畑の復活をめざす	特定非営利活動法人加茂女	17

3年目 10事業

地域	事業名	団体名	頁
滋賀	棚田・里山・古代米・鮎プロジェクト	棚田・里山・古代米・鮎プロジェクト	18
滋賀	大津市内の小学校の緑化・美化活動	滋賀県レイカディア大学同窓会 大津支部	18
滋賀	横山森林公園の活性化 3次	横山はらっぱ倶楽部	18
滋賀	八島ふれあいの森づくり（世代をつなぐ里山の保全管理活動）	八島里山づくり委員会	19
滋賀	草津市志津南地区内調整池等の雑草地整備	志津南『芝桜プロジェクト』	19
滋賀	みんなで創る走井（はしり）の里	明日の走井を考える会	19
京都	広げよう！森林環境学習活動	フィールドソサイエティー	20
京都	京都・滋賀でのコミュニティファームプロジェクト	美土里ファーム・ コミュニティファーム実行委員会	20
京都	道普請ツアーと東屋づくり	上宮津・杉山エコガイドの会	20
京都	希少種の保全 ヤマトサンショウウオの生息環境保全	特定非営利活動法人 亀岡人と自然のネットワーク	21

ステップアップ2年目 2事業

地域	事業名	団体名	頁
滋賀	緑の手入れを通じての “高齢者支援対策”と“空き家対策”	NPO 志津南環境美化ボランティアの会	22
京都	森のようちえんプレ事業	特定非営利活動法人こそだてママ net	22

彦根ブナの会 植樹活動

彦根ブナの会

活動場所 滋賀県多賀町保月 / 鍋尻山
所在地 滋賀県彦根市
連絡先
活動分野 ●森・林・里地 / ●動物 / ●植物



夏原グラントで実施した事業の紹介

この年は冬季の積雪が多く、主たる活動の場「鍋尻山」への道が通れるようになったのは4月になってからでした。4月から8月までは鍋尻山山頂および山麓にある食害防止のネットや樹木の保護ネットなどが雪などで傷んでいるのでその修理と痛んだ樹木の苗や幼木の保護が主な作業となりました。4月…3回、5月…4回、6月…3回、7月…3回、8月…2回。9～11月は新たな樹木の苗の植樹に取り組みました。

環境や地域への貢献

クلمي約20本、マユミ約14本、またススキの種の植付と、それぞれの樹木に食害防止のネット設置などを行いました。山麓の湿地にクニンソウの苗を植付しました。また、イワウチワの群生地およびイチリンソウの群生地に食害防止のネットを設置しました。

助成金が活きたと思う点

食害防止のネットや樹木の保護ネットなど消耗品を買い足すことができました。

西の湖自然楽校

特定非営利活動法人

西の湖自然楽校

活動場所 滋賀県近江八幡市安土町5441番地
西の湖自然ふれあい施設
所在地 同上
連絡先
活動分野 ●子ども / ●水・水辺 / ●植物



夏原グラントで実施した事業の紹介

湖畔の木に登り、水辺での焚き火に興じる子どもたち。子どもたちの自由な発想で遊びを創り出す冒険ひろばを月一回、定期的に開催しました。この他、四季の星空観察会や水辺のコンサートも企画し、四季折々の活動ができました。

環境や地域への貢献

西の湖周辺の草地に生える野草の観察をしたり、ヨシ原のヨシを使った造形作品を制作したりする活動も取り入れ、西の湖の自然に目を向ける子が多くなっています。

また、自然の空気の中で伸びやかな生活を見つげられるように、不登校の子どもたちや社会適応が苦手な青年を支援する団体と協力して、子どもたちが安心して過ごせる居場所を提供することができました。

助成金が活きたと思う点

助成金の一部を活用し、造園業者に委託して、産業廃棄物のごみ捨て場となっていた湖畔からごみを撤去し、山土を入れ、子どもたちと一緒に芝生を植えて自然楽校専用のボート乗り場を作ることができました。天気の良い日は、ここからボートを漕ぎ出して、西の湖のヨシ原や水鳥の観察を楽しんでいます。



環境学習・環境保全活動支援のための「高島の田んぼの生きもの図鑑」の作成と活用

結いの里・棕川

活動場所 滋賀県高島市
所在地 高島市今津町棕川1286
連絡先 korechu@gmail.com
活動分野 ●水・水辺 / ●森・林・里地 / ●動物



夏原グラントで実施した事業の紹介

高島市内で環境保全型農業に取り組んでおられる農家さんから、生きもの観察会で使いやすい図鑑がなくて困っているとの相談を受けていました。そこで、高島の水田に棲んでいる生きものに特化し、かつ携帯しやすい生きもの図鑑の作成に取り組みました。2年計画1年目の本年度は、調査と掲載種の選定・編集作業でした。調査は琵琶湖に近い平野部と中山間地の水田で、環境保全型農業に取り組んでおられる農家の圃場で実施しました。

環境や地域への貢献

調査に協力いただいた農家さんが、自分の水田の生物相がわかることで、生物相にあった生きもの共生策を図るための目安ができました。また近隣の小学校も本事業に興味を示してくれていて、今後、学校教育への活用も期待されます。

助成金が活きたと思う点

以前から、図鑑の作成の計画はありましたが、見やすい図鑑をつくるためにはデザインが重要で、そのためのデザイン料を捻出することができませんでした。助成金のおかげでデザイナーに発注することができ、見やすく、わかりやすい図鑑が作れそうです。



※事務局注
本来の図鑑とは必ずしも一致しませんが、事業名も「図鑑」として採択していますので、団体の原稿をそのまま掲載しています。

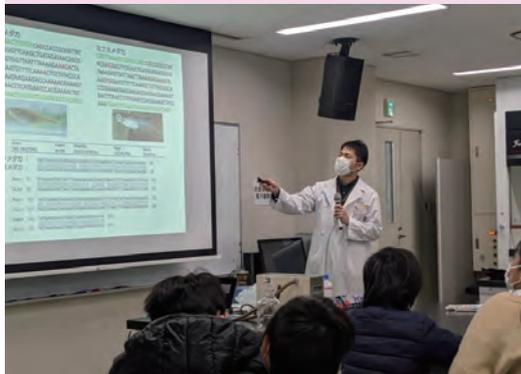
滋賀の河川・湖沼等の環境保全を目的とした 最新科学技術の活用と地域環境問題解決

未来生物学研究所

活動場所 滋賀県彦根市、米原市、長浜市の河川
所在地 滋賀県長浜市田村町 1266
連絡先
活動分野 ●子ども / ●水・水辺

夏原グラントで実施した事業の紹介

私たちは滋賀県に生息する絶滅危惧種ハリヨを含む淡水生物を守るため、様々な調査・研究・保護活動や理系人材の育成に取り組んでいる学生団体です。現存する日本固有種の集団を守るため、生息状況の調査や地域の方々に参加してもらって生態調査や啓発活動も行っています。さらに、県内地域固有のハリヨやイトヨとの交雑による遺伝子汚染の問題に現在注力して取り組んでいます。



環境や地域への貢献

私たちの活動を知った多くの団体から生態調査コラボレーションや勉強会の打診がありました。ファーストステップからの我々の活動を知って興味を持ってもらえ、活動の手ごたえを感じました。また、淡水生物生息河川の河川改修工事や道路拡張などの際、淡水生物保護のための提言を行い、生息環境への工事の影響を抑えられたと考えています。

助成金が活きたと思う点

子どもたちの科学者体験教室などにかかる実験・器具の費用や遺伝子鑑定と環境 DNA 解析を研究機関に委託することで、科学的な根拠に基づく事業展開ができました。

山の手入れと 地元の紹介イベントを通じた地域環境の活性化

東草野炭焼き文化保存会

活動場所 滋賀県米原市甲賀
所在地 滋賀県米原市甲賀 636
連絡先 〒 521-0303 滋賀県米原市甲賀 636
法雲俊昌宛
活動分野 ●森・林・里地 / ●植物 / ●参加募集

夏原グラントで実施した事業の紹介

8月28日に炭焼き&薪割り体験イベントを実施しました。山の環境への関心が高く、東京や大阪等からも参加者があり、総勢30人程で実施しました。そば打ち体験イベントを10月30日に実施し、原種の伊吹そばと伊吹大根を使用しました。コロナ対策もあり総勢16人程でしたが、外国の方も参加され日本文化に触れるよい機会ができたことと喜ばれました。クリスタル石鹸作りのイベントを12月3日に実施しました。参加した方々は、初めて体験し興味津々で、地域の新たな魅力のきっかけになりました。



環境や地域への貢献

大きくなった広葉樹で陰が多い環境でしたが、伐倒したので、山の斜面の日当たりがよくなりました。山の環境は、一段とよくなりナラやクヌギの新芽と若木の生育に繋がっています。村の周辺環境や移住交流では、営農の手伝いや特産品開拓をする人材も出て、人的交流も進み、明るい地域になってきました。

助成金が活きたと思う点

地域への波及は、イベントを通じた交流が移住希望者への交流にもつながり、いい刺激を受けて活性化につながっています。古民家を改修した6戸目の家にも入居される準備ができ、地域に対する貢献は益々大きくなっています。山の環境整備で植栽を進めるとともに、移住者を募り地域環境を整えていきたいと思えます。

吉田山の自然環境を保全・整備し 人々が集い楽しめる里山に再生する事業

吉田山の里山を再生する会

活動場所 京都市左京区吉田神楽岡町 吉田山
所在地 京都市左京区吉田中大路町
連絡先 yoshidasatoyama@gmail.com
活動分野 ●森・林・里地 / ●参加募集

夏原グラントで実施した事業の紹介

植樹会を開催しました。桜実生木7本とモミジを3本ですが、総て自家育成した実生木を植樹するのが特色です。月1回里山再生作業を実施し、間伐剪定、階段作りや側溝の整備など、環境整備を続けています。軽トラ1台分の枝葉を京都市動物園へ飼料として届けています。会員では伐採できない危険木・高木は助成金で専門家に委託伐採し、落枝・倒木のリスクが低減できました。



環境や地域への貢献

再生活動により、植生が豊かになり、小鳥のさえずりが増えました。山頂公園周辺の見通しがよくなり、防犯面で安心感に繋がるとともに、子どもたちの遊べる面積が増えました。遊歩道脇の立ち枯れ木伐採により、安心安全に散歩できるようになりました。

助成金が活きたと思う点

再生活動に必要な道具類が充実し、作業効率が改善されました。ウッドチップパーなど機具類の消耗品購入や保守点検費用として活用し、ストレスなく作業が行えました。

持続可能な集落棚田のための環境保全型ネオ・スモールファーマー発掘プロジェクト 特定非営利活動法人
スモールファーマーズ

活動場所 滋賀県大津市北船路集落
所在地 京都市左京区
連絡先 0120-944-083
活動分野 ●森・林・里地 / ●植物 / ●普及・啓発



夏原グラントで実施した事業の紹介

滋賀県大津市北船路集落の棚田で、スマート農業を活用した環境保全型（有機）稲作栽培を行うことで、地域の自然環境保全はもちろん、都心部に住みながら稲作に携わる新しいタイプの兼業農家（ネオ・スモールファーマー）を発掘・育成する事業です。



環境や地域への貢献

水位・水温センサーを活用することで、除草剤を散布せずにデータに基づく環境保全型稲作栽培に取り組みやすくなりました。また、リモート自動閉開水門装置を活用することで、都心部に住みながら平日も水管理をリアルタイムで行うことができ、集落棚田の維持管理に貢献することができました。できた農産物を地元直売所と連携し販売したり、地域のイベントへ参加することで地元活性化へも貢献できました。

助成金が活きたと思う点

スマート農業機器は、小規模農家にとっては高価で導入は難しいのが現状ですが、助成金を活用して機器を導入し、効果を検証することができました。また、財団の支援を受けていることが地元農家の皆さんへも安心感を与え、スムーズに活動することができました。

花背の森ガタリ～土地に根差した学びの場 林業女子会@京都（花背支部）

活動場所 京都府京都市左京区花背地域
所在地 京都府京都市左京区花背
連絡先 fg.hanase@gmail.com
活動分野 ●森・林・里地 / ●植物 / ●普及・啓発



夏原グラントで実施した事業の紹介

花背地域の生物文化多様性を次の世代へと繋ぐため、自然観察ガイドと歩く雲取山登山や山野草を料理し食べる会やニホンミツバチの養蜂などを、子どもたちや京都市内の学生らも交えた学びの場として実施しました。また、月に一度花背地域の植生をモニタリングし、地域固有の植物や希少生物の調査を行いました。



環境や地域への貢献

花背地域は丹波高原国定公園に指定される生物多様性と歴史的文化的景観に富んだ地域ですが、往年は獣の食害や外来生物の侵入など多様性が危ぶまれる状況でした。植生調査により、在来種や絶滅危惧種の発見に至りました。学びの場として活用することで、地域内外の人的交流も促進されました。

助成金が活きたと思う点

助成金により、植生調査の知見をもつ専門家や自然ガイドから、多様な学びの場を提供いただきました。また、花背の土地に寄り添った生物暦と食文化・農事などまとめた冊子を制作することができました。花背の自然文化の豊かさを語る手がかりとして、今後広く活用していきたいと思えます。

在来種を育む水辺づくりと交流型里山イベント Woodstick 上桂川を守る会

活動場所 京都府京都市左京区広河原
所在地 京都府京都市左京区広河原菅原町 115 番地
連絡先
活動分野 ●子ども / ●水・水辺 / ●動物



夏原グラントで実施した事業の紹介

京都市左京区広河原で、自治会や釣り人、猟師の方たちとのイベント開催、ピオトープ改修、木道整備、木製遊具補修を行いました。8月7日の「広河原里山フェスティバル」では、アユの手づかみ・ガサガサ・川流れ・環境トークショー・手作り市・音楽ライブ・笹漁礁作りなどを催し、親子連れの子もたちが里山の自然に楽しく触れました。2月12日のイベントでは、括り罾で捕まえた鹿を猟師の方の指導で参加者が解体して、食しました。里山の「尊い命」を繋ぐ食文化を体験して、自然環境の大切さと厳しさを学びました。



環境や地域への貢献

参加者が里山に親しみを覚えて、笑顔で集う姿は限界集落に元気を与えてくれました。また、参加者と山野の手入れをし、剪定した枝や笹を使って笹漁礁を作りました。そのおかげで、川に魚の隠れ場が増え在来魚が倍増しています。トラウトタウン内のピオトープでは改修の効果があって、「魚の棲み分け」が見えてきました。アカハライモリの増殖、トンボ類や羽化する水生昆虫も増加しました。深く掘った池の水漏れが少なくなりました。水深が60cmほど増えたので、流入したタカハヤが自然産卵して稚魚が増えました。この調子でホテルが増えることも期待しています。

助成金が活きたと思う点

補修、整備、また生き物の棲みかを増やす取り組みの資材調達に役立ちました。

ボタン科ボタン属ヤマシャクヤクの保全

雲ヶ畑・足谷 人と自然の会

活動場所 京都府京都市北区雲ヶ畑
所在地 京都府京都市
連絡先
活動分野 ●森・林・里地 / ●植物



夏原グラントで実施した事業の紹介

ボタン属ヤマシャクヤクは晩春に咲く清楚な山野草で、雲ヶ畑足谷はその貴重な自生地になっています。しかし、近年、山林の放置による日照・風通しの不足や鹿の増加による食害などにより、個体数が減り、不稔種子が増えるなど劣化が進んでいます。そこで、夏原グラントの助成により、ヤマシャクヤクに対しても、間伐・枝打ち・草刈りを行って生育環境を改善するとともに、防鹿ネットを張って獣害対策をしました。

環境や地域への貢献

防鹿ネットを設置することで、ヤマシャクヤク以外の希少植物も守られることになり、多様な生態系の保全に貢献できました。また、毎年4月末に「春の集い」と称してヤマシャクヤクの鑑賞会を開き、雲ヶ畑の住民の方および一般の市民の方にヤマシャクヤクを見ていただいています。ヤマシャクヤクを雲ヶ畑地域のシンボルとして認識してもらうとともに、ヤマシャクヤクのみならず貴重な自然の残る雲ヶ畑のよさを知ってもらいたいです。

助成金が活きたと思う点

コロナ禍により諸行事が中止・中断する中で、会費・参加費収入も減少していましたが、防鹿ネットおよび付属の器具・資材が購入できました。



森の保全及び公園の清掃活動

みどりの会伏見桃山

活動場所 京都府京都市伏見区
伏見北堀公園及び桃陽の森など
所在地 京都府京都市伏見区
連絡先 広報担当 岡村祐介 090-7352-2223
活動分野 ●森・林・里地 / ●植物 / ●エネルギー・エコ

夏原グラントで実施した事業の紹介

当会は伏見城跡の近くの森と公園で活動しています。桃陽支援学校の約2haの森で、森が荒廃しないように活動しています。公園は伏見城の堀跡を利用した約7haの公園です。ここでは公園の遊歩道の清掃、危険木の監視、その処理などを担っています。

環境や地域への貢献

倒木はそのまま放置しておく腐朽して、いたずらにCO₂を発生させるだけです。しかし、これを燃料として利用すると、燃焼の際腐朽したのと同じ量のCO₂を発生させますが、その化石燃料の消費を減らせます。

助成金が活きたと思う点

装備の不足で苦労を要していた作業がとてもしやすくなりました。まずウインチの鋼製ケーブル。倒木は素直に倒れてくれません。隣の木に引っかかっていたり、足場の悪い斜面にあたりします。ここでウインチの出番です。この時ほど「道具」のありがたさが身に染みることはありません。8ポンドの斧、ヘビー級の斧は薪割りの効率を大きく向上させました。背負子、一連の倒木処理作業で一番大変なのは運搬です。この時背負子が力を発揮してくれます。皆、助成金で揃えました。



「わきの山」における持続可能な里山利用にむけたゾーニングの検討および実施

公益財団法人 京都市環境保全活動推進協会

活動場所 京都府京都市 わきの山
所在地 京都府京都市
連絡先 〒612-0031 京都市伏見区深草
池ノ内町13番地 075-647-3535
活動分野 ●子ども / ●森・林・里地 / ●植物



夏原グラントで実施した事業の紹介

京都市市街地の北端にある京都市立明徳小学校の学校林「わきの山」において、里山再生活動を行っています。わきの山は、かつては農用林として利用され、クリ、クヌギなどの落葉広葉樹や、近年生息域が減少しているとされるチマキザサ等が生育しています。ゾーニング計画を作成してそれに基づいた管理を進めるとともに、山と資源を継続的に利用できる仕組みの検討を行っています。

環境や地域への貢献

祇園祭の厄除け粽に利用されるチマキザサですが、わきの山は京都府内自生の分布南限です。チマキザサを被陰していたクスやネザサ等の除去により、その生育範囲が大きく広がりました。また、わきの山の利活用について、明徳小学校の先生方と検討を進めており、今の時代にあった里山利用の形を引き続き模索していきたいと考えています。

助成金が活きたと思う点

鋸や鉋等作業に必要な備品を充実させることができ、整備活動のできる幅が広がりました。また、蚊の発生源となることが危惧されていた伐採後の竹を、粉碎機を借りてチップ化することもできました。



地球とあそびひみつきち

活動場所 京都府京都市西京区大原野地域
所在地 京都府京都市
連絡先 tikyuutoasobu@gmail.com
活動分野 ●子ども / ●森・林・里地 / ●参加募集



夏原グラントで実施した事業の紹介

主に0歳～小学生の子どもと親を対象に、毎週土曜日に自然活動体験を行っています。フィールドでは無農薬の野菜や果樹を育て、隣接した森や川で遊んでいます。自然の中に身を置き、多様な生き物や植物に実際に触れることで、環境や持続可能な社会について考えるきっかけとなるよう活動しています。



環境や地域への貢献

大原野地域は、京都市内でありながら農地や山林が多く残っている土地で、後継者不足が問題となっています。空いている畑や放置竹林を使ってくれないかというお声をいただくようになり、少しでも里山の荒廃防止になればと思います。また、地域の企業や団体の方たちと協働してイベントやマルシェ開催の企画が進んでいます。活動に参加してもらっている子育て世代の方たちには大原野地域の魅力を実感してもらっています。

助成金が活きたと思う点

スタッフはボランティアで、それぞれ仕事や子育てがある中で運営しています。また財源が確立していないので、助成金のおかげで活動を継続できています。

竹林の整備による 放置竹林の発生防止と景観保全

活動場所 京都府京都市西京区大原野
所在地 京都府京都市
連絡先 kyototakenet@gmail.com
活動分野 ●森・林・里地 / ●普及・啓発 / ●参加募集



特定非営利活動法人 京都発・竹・流域環境ネット

夏原グラントで実施した事業の紹介

放置竹林解消のためのタケノコ畑の整備を一年を通じて継続して行い、伐採した竹を使って、5月の節句の前には節句人形づくり、12月にはミニ門松づくりを、家族の参加により多くの市民を巻き込んだイベントとして開催しました。洛西ニュータウンの年末のイルミネーション製作により地域の装飾にも役立て、交流・活性化に貢献できました。

環境や地域への貢献

竹林の整備に伴う伐採竹をチップにすることで、焼却によるCO₂の発生防止になりました。また、伐採した竹を節句人形づくりやミニ門松づくりに活用することにより、竹を廃棄するのではなく資源として活用しました。門松・皿・コップ・箸に利用するイベントを開催することで、竹に親しんでもらうことができました。

助成金が活きたと思う点

イベント開催における材料費やタケノコ畑の整備における肥料・用具の購入に充当しました。出生数が減少する中、子どもたちのイベント参加時の楽しそうな笑顔は、コロナ禍後の将来の社会を作る感受性を感じました。今後の社会づくりに助成金が活きていると思います。



遊んで学ぼう 里山東笠取

活動場所 京都府宇治市東笠取
所在地 京都府宇治市木幡南山 12 番地の 52
連絡先
活動分野 ●森・林・里地



特定非営利活動法人 オーガニック土の塾

夏原グラントで実施した事業の紹介

毎月第3水曜日と第3日曜日に2時間ほど東笠取奥宮神社から岩間寺を巡る遊歩道の整備等を行いました。10月3日には東笠取の野草の勉強会として、野草の観察→種類の確認→調理加工→試食を行いました。夏には川遊び河川の整備や昆虫探しを行いました。

環境や地域への貢献

奥宮神社から岩間寺を巡るルートでは途中琵琶湖が見える所もあり、安全になった遊歩道で一般市民が訪れています。野草の勉強会に参加すると、今まで知らなかった自然の知識を得られ、自然の有り難さ、自然環境を守る大切さを実感してもらえました。野草を守っていくための摘み方、残し方、増やし方のルールもしっかり勉強して、人と自然の調和を図っています。

助成金が活きたと思う点

人力ではできない整備活動にユンボを利用できました。野草の勉強会にベテランの講師を招き、野草について教わり、それぞれの活動に役立っています。野草を摘んでよい所、ダメな所、私有地、国有地、田畑、放棄地の違い等も勉強でき、里山のルールを守り、自然を楽しんでもらえます。

